

第3回 知的障がい者日韓スポーツ交流プログラム

【実施報告書】



2019年10月

一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会

ANISA
All Nippon ID Sport Association

はじめに

「第3回知的障がい者日韓スポーツ交流プログラム」は、2015年9月に行われた第4回INASグローバルゲームス（エクアドル）に、日本より参加した5競技団体（バスケットボール、フットサル、卓球、陸上競技、水泳）に対して、韓国選手団代表より日韓スポーツ交流プログラムの提案があり、アジア地域における知的障がい者スポーツの発展に日本と韓国が互いに協力していくことで合意し、2017年から同交流が始まりました。

2018年の第2回目の昨年は韓国（ソウル）で開催され、特に前回は選手同士が交流のみならず、スタッフ間においてもお互いに指導方法など情報交換を行うことができ（プレゼン発表会）、お陰様で年々実りあるプログラムに成長しております。

さて第3回目となる今回は、2019年4月の時点で、各競技団体の練習・合宿等の都合（東京2020パラリンピックまで約1年）で、開催自体が危ぶまれておりました。しかしながら両国の不断の努力により、3競技（卓球・陸上競技・水泳）のみ実施する事が可能となりました。ただ、開催が決定しましても、基本的に上記の状況は変わらない為、3競技団体が別々の会場で同時に行うという方法を取らざると得ませんでした。また今回は、水泳が、『2019ジャパンパラ水泳競技大会』への参加を特別に認めて頂いた関係で、全体として9月20日～24日というこれまでで最も長い派遣期間となりました。その為、陸上競技と卓球に関しては、20・21日に東京都東久留米市のご協力を得て、地元の方々（東久留米市立大門中学校陸上部様と東久留米卓球連盟様）とまさに草の根的な交流をすることができました。

ご承知の通り、今回の開催は、競技団体の都合以外にも様々な要因が関係し、非常に厳しい状況下ではありましたが、競技団体の皆さまのお力をお借りし、何とか開催出来たことは本当に価値のあることだと考えております。そしてこのことは、歴史が証明してくれると固く信じております。

一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会
会長 斎藤 利之

1. 日程

日次	月日(曜)	行程	宿泊地
1	9/20 (金)	09:00 金浦発 (KE2707 便) 11:05 羽田着 <水泳> 羽田空港到着後→(バス移動)→新横浜ホテル着 公開練習: 横浜国際(水泳) <卓球・陸上競技> 羽田空港到着後→(バス移動)→東横 inn ホテル着 練習: 大門中学校(陸上) / スポーツセンター(卓球)	新横浜プリンス (水泳) 東横 inn 東久留米 (卓球・陸上)
2	9/21 (土)	<水泳> 大会本番(横浜国際プール) <卓球> 午前: 卓球自主トレーニング(スポーツセンター) 午後: 卓球交流試合(東久留米卓球連盟) <陸上> 午前: 陸上トレーニング(大門中学校) 午後: 移動⇒千葉市	新横浜プリンス (水泳) 東横 inn 東久留米 (卓球) ホテルルートイン千葉 (陸上)
3	9/22 (日)	<水泳> 大会本番(横浜国際プール) <卓球> 午前: 10時ごろ移動 午後: 卓球練習(NTC)⇒夕食後、ホテルチェックイン <陸上> 10:00~15:00 記録会(山武市成東総合運動公園陸上競技場)	新横浜プリンス (水泳) スーパーホテル赤羽 (卓球) ホテルルートイン千葉 (陸上)
4	9/23 (月)	<水泳> 大会本番(横浜国際プール) <卓球> 終日トレーニング(NTC)⇒夕食後、ホテル <陸上> 午前中トレーニング⇒東京都障害者総合スポーツセンター 午後: オフ	新横浜プリンス (水泳) スーパーホテル赤羽 (卓球・陸上)
5	9/24 (火)	<文化プログラム> バスにて東京オリパラ会場の視察⇒大江戸温泉物語(お台場) 16時~17時30分: 移動(羽田空港へ) 19:55 発 羽田発 (KE2710 便) 22:15 金浦着	—

2. 参加メンバー(韓国)

	Category	Name(Korean)	Name(English)	Event	Gender
1	HOD	김세현	Kim Se Heon	Swimming	M
2	A_HOD	이용훈	Lee Yong Hoon	Swimming	M
3	staff	이윤혁	Lee Yoon Hyuk	Table tennis	M
4	staff	안상호	Ahn Sang Ho	athletics	M
5	staff	오형석	Oh Hyung Suk	Swimming	M
6	staff	이은영	Lee Eun Young	Swimming	F
1	Coach	이민수	Lee Min Soo	Swimming	M
2	Coach	이종홍	Lee Jong Hong	Swimming	M
3	Coach	조순영	Cho Soon Young	Swimming	F
4	Athlete	김동현	Kim Dong Hyeon	Swimming	M
5	Athlete	김민규	Kim Min Kyu	Swimming	M
6	Athlete	김반석	Kim Ban Seok	Swimming	M
7	Athlete	김승진	Kim Seung Jin	Swimming	M
8	Athlete	김지원	Kim Ji Won	Swimming	M
9	Athlete	김현승	Kim Hyeon Seung	Swimming	M
10	Athlete	임현규	Lim Hyeon Kyu	Swimming	M
11	Athlete	조원상	Cho Won Sang	Swimming	M
12	Athlete	최태혁	Choi Tae Hyock	Swimming	M
13	Athlete	이다은	Lee Da Eun	Swimming	F
14	Coach	박현	Park Hyun	Table tennis	M
15	Coach	김경숙	Kim Kyoung Suk	Table tennis	F
16	Athlete	김창기	Kim Chang Gi	Table tennis	M
17	Athlete	최재현	Choi Jae Hyeon	Table tennis	M
18	Athlete	차정훈	Cha Jeong Hun	Table tennis	M
19	Athlete	최수환	Choi Su Hwan	Table tennis	M
20	Athlete	서양희	Seo Yang Hee	Table tennis	F

21	Athlete	한규리	Han Gyu Ri	Table tennis	F
22	Coach	김경지	Kim Kyung Ji	athletics	M
23	Athlete	정준수	Jeong Jun Su	athletics	M

3. 各競技団体より

<陸上(報告者:今本氏)>

1. 実施した交流プログラム

- (1) 9月20日(金)16:30~ 場所:大門中学校
 大門中学校陸上部との合同練習会
 通常の部活動に参加させて頂き、基礎的な練習から合同リレーなどを実施した。
 参加した中学生も事前に韓国語などを勉強し、積極的に話しかけていたことが印象的だった。韓国の選手は来日初日という事もあり、最初は緊張をしていたが最後は笑顔も見え、気持ちの良い汗をかくことができた。
- (2) 9月21日(土)9:30~ 場所:大門中学校
 大門中学校陸上部との合同練習会
 昨日同様に、中学生と合同の練習を実施した。この日は監督・コーチ同士の情報交換も積極的に行われ、良い交流ができたのではないかと思う。
- (3) 9月22日(日)10:00~15:00 場所:成東総合運動公園陸上競技場
 ミニ記録会(本連盟強化指定選手も参加)
 台風の被害が残っている山武市での開催であったため、記録会は中止となってしまったが、山武市の有志の方々の御協力をいただき、ミニ記録会を開催することができた。
 ・400m・200m
 ・リレー交流
 ミニ記録会に出場していた山武市のアスリート(子どもから大人まで)と韓国選手団の方々が一緒にチームを組み、リレー交流を行った。
- (4) 9月23日(月)9:00~12:30 場所:東京都障害者スポーツセンター
 本連盟強化指定選手との合同練習会
 ・韓国選手がアップ時に左足に違和感が出てしまい、本連盟強化指定選手のための練習になってしまったが、韓国コーチの指導のもと、充実した内容で練習を行うことができた。また、日韓のコーチ同士の交流にもなった。

2 全体を通じて

韓国選手が400m男子1名ということで、本連盟400m男子の強化指定選手1名との交流をメインにプログラムを行った。また、INASグローバルゲームズが迫っていることもあり、大会に

向けた調整を含め、記録会と合同練習会を設定することにした。お互いINASグローバルゲームズに出場すること、記録的にも同じレベルで競い合えることもあり、とても良い交流となった。また、日韓のコーチ同士で、知的障がい者の陸上競技における現状や課題についても情報共有することができた。今回の交流をINASグローバルゲームズにもつなげながら、日韓の交流を深めていきたい。



<卓球(報告者:長田拓也氏)>

1. 実施した交流プログラム

(1)9月20日(金)16:30~ 場所:東久留米市スポーツセンター2F

・自主練習

東久留米市全面協力により、東久留米市スポーツセンターを利用することが出来た。全部で8台ある卓球台の内、3台を利用する事が出来、エアコン施設も充実していたため、十分な練習が出来たのではないかと思う。

(2)9月21日(土)9:30~17:00 場所:東久留米市スポーツセンター2F

・自主練習(午前)

午前中は、韓国チームだけで自主練習を実施した。

・東久留米市卓球連盟と合同練習(午後)

地元、東久留米市卓球連盟様から6名の攻撃スタイルの違う選手(男女)を招集して頂き、個人、ダブルス、ダブルス混合等、大変多くの試合を行う事が出来た。東久留米市卓球連盟の選手は、比較的高齢のベテランの選手であったが、ベテランならではの巧緻なプレーを参考にされていた。

■日本選手団名簿

理事長:鈴木一／総括:石川一則・中村孝太郎／コーチング:田中敏弘(23日のみ参加)

総務:武居和子・柏木眞子・金沢明子・長田拓也

男子選手:竹守彪・加藤耕也・浅野俊・高橋利也

女子選手:古川佳奈美・伊藤慎紀・美遠さゆり・樫山七菜子

通訳:中村遼太郎／サポートトレーナー:日本大学卓球部

■韓国選手団名簿

コーチ:Park Hyun・Kim Kyoung Suk

男子選手:Kim Chang Gi・Choi Jae Hyeon・Cha Jeong Hun・Choi Su Hwan

女子選手:Seo Yang Hee・Han Gyu Ri

《スケジュール》

9月22日 12時 ～韓国選手団、日本スタッフ NTC 集合・昼食

12時30分～日本選手団集合・ミーティング

13時15分～ウォーミングアップ・練習開始

18時 ～練習終了

18時30分～夕食

19時30分～韓国選手団をホテルへ、日本選手団ミーティングの後就寝

9月23日 9時30分～韓国選手団 NTO 集合

9時50分～ウォーミングアップ・練習

12時30分～昼食

14時30分～ウォーミングアップ・交流試合

18時 ～練習終了

18時30分～夕食

19時30分～韓国選手団ホテルへ

～交流会終了・日本選手団はそのまま24日まで合宿～

2. 全体を通じて

今回の日韓交流は日本代表の NTC 合宿(代表トップクラスのみを招集した合宿)の日程に合わせて、新設された味の素ナショナルトレーニングセンターの拡充棟を使用して行われた。国内最高峰の施設を利用した練習に韓国選手団には大いにお喜びいただけたことと思う。実際当該施設は通常健常者の日本代表が練習を行う場であり、この日も数名の日本代表選手や肢体不自由者の代表選手が練習を行っていた。

今回参加した韓国代表選手は INAS グローバルゲームズに参加する選手とのことで、韓国の男子エース選手を除く上位の選手がそろい踏みというような形となった。実際日本代表も8名中6名が当該大会に出場する選手であったため、半ば前哨戦という形でありつつも、互いの手の内を探り合うような形となった。

当該交流初日には日本大学卓球部の学生も交えて強化練習を行った。男女ともに日本のほうが格上であるが、韓国選手団も一様に癖のある選手がそろっていたため、互いにメリットのある練習会ができたと感じられる。

2 日目には午前中練習を行い、午後より交流試合を行った。韓国選手団のコーチが体調不良を起こし病院へ行くなどのアクシデントが発生したものの大事には至らず不幸中の幸いであった。交流試合では日本選手団が勝ち越したものの、内容はほぼ五分の戦いであり、INAS グローバルゲームズでも接戦が予想される形となった。韓国選手は 2020 東京パラの代表選考にあと一歩のところまで来ている新進気鋭の選手たちが活躍を始めているため、日本も若手の育成や発掘により力を入れなければならないと強く感じた。

今回の交流会では ANISA の斎藤会長をはじめ多くの方のご尽力によって開催されたものであり、当連盟としてはこのことを肝に銘じ、本交流会で得た成果や情報を元に INAS グローバルゲームズをはじめ今後の国際大会で如何なく発揮したいと思う。



<水泳(報告者:斎藤代筆)>

1. 実施されたプログラム

今回は、ジャパンパラ大会に出場して頂いた。パラでも活躍する非常に強い選手も参加するなど大いに盛り上がった。以下は、各選手の参加種目

氏名	性別	参加種目									
		S14	50mFR	S14	100mFR	S14	100mFLY	SB14	100mBA		
Cho, Wonsang	M	S14	50mFR	S14	100mFR	S14	100mFLY	SB14	100mBA		
Choi, Taehyock	M	S14	100mFR	S14	200mFR	S14	100mFLY	S14	100mBA	SM14	200mIM
Kim, Banseok	M	S14	100mFLY	SB14	100mBR	SM14	200mIM				
Kim, Donghyeon	M	S14	100mFR	S14	200mFR	S14	100mBA				
Kim, Hyeonseung	M	S14	50mFR	S14	100mFLY	SB14	100mBR				
Kim, Jiwon	M	S14	100mFR	S14	200mFR	S14	100mFLY	SB14	100mBR	SM14	200mIM
Kim, Minkyu	M	S14	100mFR	SB14	100mBR						
Kim, Seungjin	M	S14	50mFR	S14	100mFR						
Lee, Daeun	F	S14	200mFR	S14	100mFLY	S14	100mBA	SB14	100mBR	SM14	200mIM
Lim, Hyeonkyu	M	S14	200mFR	S14	100mBA	SM14	200mIM				

2. 得られた成果

韓国選手は、以下の通り優秀な成績を収め、2019グローバル大会への十分な準備が出来る結果となった。

○Cho, Won Sang

- ・男子 100m 背泳ぎ S14/1:03.83 金メダル
- ・男子 50m 自由形 S14/24.99 金メダル
- ・男子 100m 自由形 S14/55.65 銀メダル
- ・男子 100m バタフライ S14/58.86 銀メダル

○Kim, Ban Seok

- ・男子 100m 平泳ぎ SB14/1:10.34 銅メダル

○Lee, Daeun

- ・女子 200m 個人メドレー SM14/3:04.45 銅メダル

3. 全体を通じて(まとめ)

今回は、ジャパンパラ大会への出場という事で、日本の知的障がい者アスリート及びコーチと具体的な交流は無かったが、「大会を通じて日本の障がい者水泳競技のレベルやそれらを取り巻く環境などを確認出来た事は非常に光栄だった」と韓国側から報告を受けた。今後とも、両国の知的アスリートの為、情報の共有や草の根的な交流を今後も継続していきたい。

4. 通訳

		
<p>水泳(20-23) (須藤一流様 (右))</p>	<p>卓球(20・23) (ソン ボスン様 (右))</p>	<p>卓球(21-22) (ボン ハヨン様 (前右3))</p>
		
<p>陸上競技(20) (キム ヨンギョ (右)) ※通訳代表</p>	<p>陸上競技(21-23) (キム グンジ (中央))</p>	

通訳(代表者:キム ヨンギョ氏)

<日韓障がい者スポーツ交流会の通訳を務めて>

日韓を巡る厳しい政治情勢の中、第3回の日韓知的障がい者スポーツ交流プログラムが開かれることを知り、通訳として参加した。私が通訳を担当した陸上チームでは、初日大門中学校の陸上部との合同練習が行われた。韓国の選手と日本の陸上部の生徒たちは事前に準備した互いの言語で挨拶の言葉を交わしていた。その後は、通訳を通して練習に必要な細かな体の動きに関する意思疎通を図りつつ、次第に全員が一体となって練習に励んでいった。目標した練習内容に成功したり、互いの実力に刺激し合いながら、笑顔で励まし褒め合う選手と生徒たちの姿を見守ることができた。国籍や言葉の壁を越えて、陸上の上達を目指すスポーツ精神とその情熱で一つになっていく姿を見て、スポーツを介した民間交流の意義を垣間見ることができた。

(原文のまま)

5. 総括

「第3回 知的障がい者日韓スポーツ交流プログラム」は、韓国側から総勢29名（本部スタッフ：6名／コーチ・アスリート23名(卓球8名、陸上競技2名、水泳13名)）が訪日し、5日間の全日程を終えることができました。

ただ「はじめに」でも述べましたが、無事に開催までこぎつけるか否か、当該月になっても、その不安を完全に払拭する事が出来ませんでした。しかしながら、3競技団体の関係者様のお力添えにより、開催できたことは非常に意義深く感じております。改めて心より感謝申し上げます。

さて、今回のプログラムでは韓国選手には、大きな怪我は全くありませんでしたが、卓球のコーチの方（男性）が9月23日早朝に救急搬送されるという事態が起きました。しかしながら、当日通訳をして頂いたソン（卓球担当）さんのおかげで、病院の手配・事務手続きなどを迅速に対応して頂き、翌日、同コーチも無事に帰国する事が出来ました。本当にありがとうございました。また他4名の通訳の方々も通訳以外のお仕事も率先してやって頂き、心より感謝申し上げます。

今回は、会場が点在していると言う事もあり、安全面や費用面における不安などが懸念されたところですが、関係者の皆さまの知恵と努力で無事に成功裡に終える事ができました事を改めて感謝申し上げます。

最後に、このプログラムを実施するにあたっては、支援企業様、関係団体、協力団体をはじめ多くの方のご協力とご尽力があつての事と改めて心より感謝申し上げます。特に（一社）日本身体障がい者水泳連盟の櫻井様には、ジャパンパラ水泳大会への参加に関する様々な調整を賜り、この場をお借りして重ねて感謝申し上げます。

今後は韓国だけでなくアジア全体にこの活動が広がるように近隣諸国にもPRしていきたいと思っております。

来年（2020年）は、パラリンピックイヤーと言う事もあり、第4回は実施しません。次回は、2021年に日本が韓国に渡韓し、更にグレード Up した交流プログラムにしたいと思っております。

斎藤 利之（文責）

□フォトギャラリー□

		
レセプション (両国団長)	レセプション (記念品授与)	レセプション (韓国副団長と佐野様)
		
韓国選手 (ポカリスウェット)	通訳と韓国選手 (空港)	懇親会 (韓国事務局長)
		
陸上競技 (懇親会)	陸上競技 (大門中学校)	卓球コーチ (病院にて)

<特別協賛を頂きました、大塚製薬様には心より御礼申し上げます>

